



「空飛ぶクルマ」に関する活動紹介

2021年5月21日
三井住友海上火災保険株式会社

1. 「空飛ぶクルマ」検討における推進体制

2. 「空飛ぶクルマ」領域における目指す姿

3. 目指す姿の実現に向けた取組み方針

4. 「空の移動革命に向けた官民協議会」への貢献

三井住友海上の事業領域

事業領域として、損害保険・金融サービスのみならず、リスクマネジメント・コンサルティング等、リスクに関連する事業を中心に幅広くサービスを展開しています。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

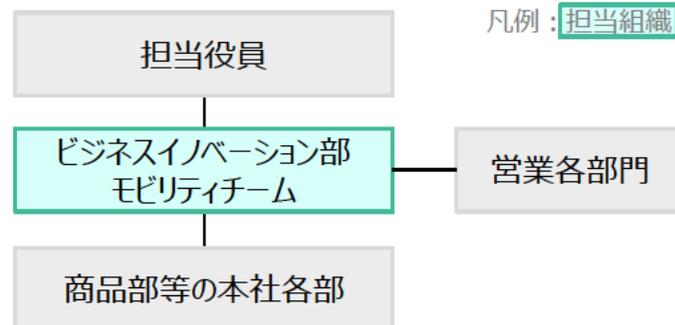
「空飛ぶクルマ」に係る事業化に向けた推進体制

三井住友海上火災保険・MS&ADインターリスク総研を中心に、グループ内で横串連携をしながら、「空飛ぶクルマ」に係る事業化に向けた検討を推進しています。

三井住友海上火災保険

MS&AD 三井住友海上

- 「空飛ぶクルマ」の実証実験・事業化に際して提供する保険商品開発等を推進
- 社外パートナーと協業してビジネスを開発するべく新設された組織にて検討をリード



MS&ADインターリスク総研

MS&AD MS&ADインターリスク総研

- 「空飛ぶクルマ」に係る実証実験・事業化に際して提供するリスクマネジメント・リスクアドバイザリーサービス（社会受容性に関する調査・研究含む）等の具体化を推進（自動運転車やドローンなど次世代モビリティ・テクノロジーにおける社会受容性に係る検討等の実績あり）

スローモビリティの実証運行を開始します



自動運転やドローン等の次世代モビリティ・テクノロジーに係るリスク関連サービスの担当チームが参画

1. 「空飛ぶクルマ」検討における推進体制

2. 「空飛ぶクルマ」領域における目指す姿

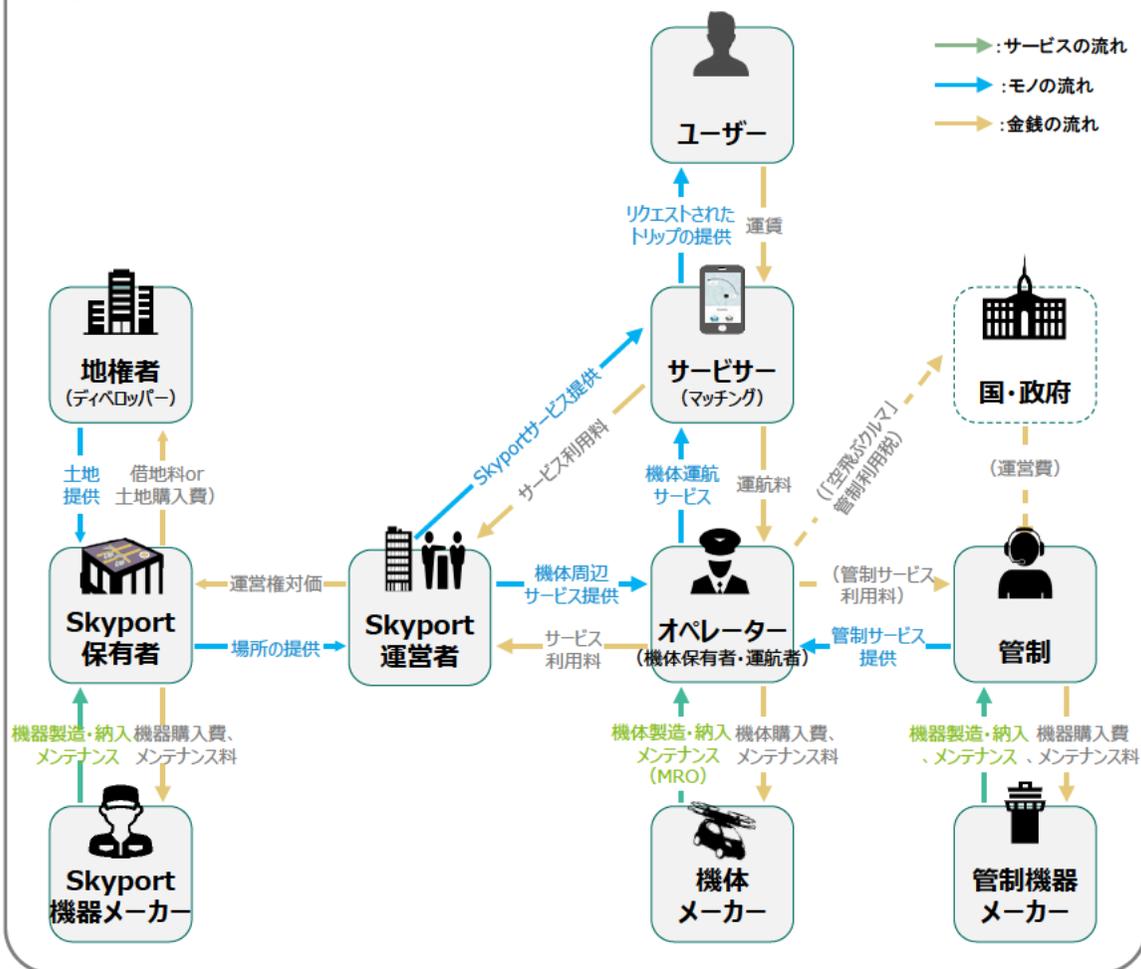
3. 目指す姿の実現に向けた取組み方針

4. 「空の移動革命に向けた官民協議会」への貢献

「空飛ぶクルマ」領域における目指す姿

我々が持つ強み・総合力を活かし、保険・リスク関連サービスの提供等を通じ安心・安全な「空飛ぶクルマ」のエコシステム運営を支えます。

「空飛ぶクルマ」に関するエコシステム（仮説）



保険サービス

事業者の業務に即した商品を提供し、安心して事業に臨める環境構築を支援

MS&AD 三井住友海上



リスクマネジメントサービス

リスクを事前に整理・把握し、適切な対策を講じることで、トラブル発生を防止

MS&AD MS&ADインターリスク総研

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

1. 「空飛ぶクルマ」検討における推進体制

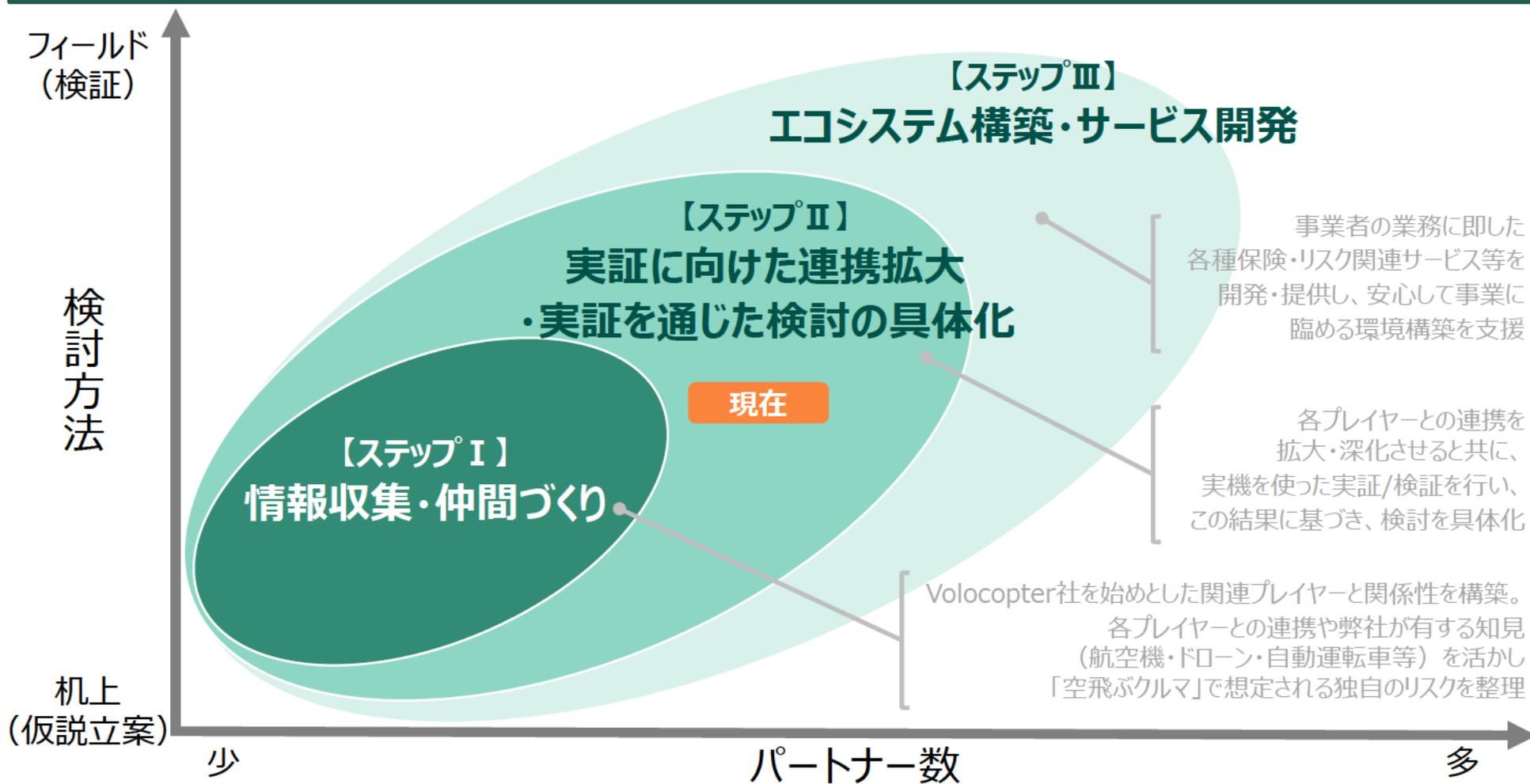
2. 「空飛ぶクルマ」領域における目指す姿

3. 目指す姿の実現に向けた取組み方針

4. 「空の移動革命に向けた官民協議会」への貢献

目指す姿の実現に向けた取組み方針

多様なプレイヤーとの連携を通じた検討、及び実証（検証）等を推進することで、「空飛ぶクルマ」のエコシステム構築・サービス開発を目指していきます。



特定のプレイヤーとの連携に限定せず、幅広いプレイヤーと連携していく想定

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

取組み概要（ステップⅠ：情報収集・仲間づくり）

「これまで培ってきた社内の知見に基づく検討」と「関連プレイヤーとの連携を通じた検討」の両輪で「空飛ぶクルマ」のエコシステム構築・サービス開発に向けた検討を行ってまいります。

これまで培ってきた 社内の知見に基づく検討

MS&AD 三井住友海上

MS&AD MS&ADインターリスク総研

- 既存事業*1で培った知見に基づき、「空飛ぶクルマ」で発生し得るリスクや課題・対策を整理
- 「空飛ぶクルマ」の普及に向けた社会受容性の調査・研究

航空機保険事業の知見

リスク関連サービスの知見
(自動運転車・ドローン 等)

社会受容性の調査・研究

⋮

「空飛ぶクルマ」 のエコシステム構築 ・サービス開発

関連プレイヤーとの 連携を通じた検討

(取組みの一例)

MS&AD 三井住友海上

MS&AD MS&ADインターリスク総研



- 機体メーカー等の関連プレイヤーが有する知見（開発技術・オペレーション等）を基にした「空飛ぶクルマ」で発生し得るリスクや課題・対策を整理

機体の特性・開発動向

運航オペレーション
(管制・離着陸ポート 等)

規制動向・対応
(機体認証における論点 等)

⋮

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

*1 航空機やドローン・自動運転車等に対する保険・リスク関連サービスの提供

Copyright 2021 © Mitsui Sumitomo Insurance Co., Ltd. All rights reserved.

取組み概要（ステップⅡ：実証に向けた連携拡大・実証を通じた検討の具体化）

各プレイヤーとの連携を拡大・深化させると共に、実証実験・具体のケースに基づいた検証により検討を具体化してまいります。



2020年10月14日

瀬戸内町
日本エアコミューター株式会社
日本航空株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
MS&ADインターリスク総研株式会社

奄美 瀬戸内町、日本エアコミューター、JAL、三井住友海上および
MS&ADインターリスク総研が連携協定を締結、
ドローンを用いた地域課題解決を目指す
～ ドローンを活用した離島地域での新しい物流サービスを共同推進 ～

鹿児島県大島郡瀬戸内町(町長：鎌田愛人、以下「瀬戸内町」)、日本エアコミューター株式会社(本社：鹿児島県霧島市、代表取締役社長：越智健一郎、以下「JAC」)、日本航空株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長：赤坂祐二、以下「JAL」)、MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社(本社：東京都千代田区、取締役社長：原典之、以下「三井住友海上」)およびMS&ADインターリスク総研株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中村光身、以下「MS&ADインターリスク総研」)は、ドローンを活用した地域課題解決を目指す連携協定を締結しました。本連携協定に基づき、瀬戸内町および4社は、2021年度を目途に瀬戸内町にて行うドローンを用いた実証実験を通じて、物流サービスに関する運用の課題の抽出や事業化に向けた検証などを行います。

1. 「空飛ぶクルマ」検討における推進体制

2. 「空飛ぶクルマ」領域における目指す姿

3. 目指す姿の実現に向けた取組み方針

4. 「空の移動革命に向けた官民協議会」への貢献

「空の移動革命に向けた官民協議会」への貢献方針

三井住友海上・MS&ADインターリスク総研が有する知見・ノウハウに加え、関連プレイヤーとの連携を通じて行う実証/検証等の実績データ・課題を共有し、協議会運営・エコシステム構築に貢献します。



空の移動革命に向けた官民協議会

各種取組みで得た知見やデータ
(短期/中長期)

フィードバック

フィードバック

MS&AD

三井住友海上

MS&AD

MS&ADインターリスク総研

保険・リスクに関する知見・ノウハウ

- 既存事業（航空機・ドローン等）を通じ培った保険・リスクに関する知見・ノウハウ
→ **短期**
- 実証/検証等を通じてブラッシュアップされた「空飛ぶクルマ」に係る保険・リスクに関する検討結果 → **中長期**

実証/検証等の実績データ

- 「空飛ぶクルマ」に係る各プレイヤーとの連携を通じて行う、実証/検証等で収集・蓄積するデータや課題
→ **中長期**

立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
